福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	し尿収集事業							事業コード	040203540337		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所属	021400 市民生活部市民課				所属長	大島 司				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	03し尿処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	146・147	頁
計画期間	開始年度	昭和	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	一般廃棄物処理計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、福知山市廃棄物の処理及び清掃に関する条例										
事業区分	☑ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・下水道、集落排水、合併浄化槽等でのし尿処理の普及により、水洗化は進展しているが、下水道に未接続の世帯や工事現場等の仮設トイレはし尿の収集が必要な状況にある。 ・仮設便所を含め、下水道等に未接続の便所がある現状では、衛生的な市民生活を維持するためにし尿の収集運搬は欠くことはできない。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・し尿収集運搬は事業者に委託しているが、人件費やバキュームカーの維持管理費など、業務実施に伴う経費負担が大きい。 ・し尿収集運搬にかかる経費に対し、くみ取り料金が低く、費用負担のバランスが取れていない。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び本市の一般廃棄物処理計画に基づき、非水洗化便所を使用する世帯からのし尿収集・処理を適正に実施する。 ・公衆衛生の維持と環境保全を目的とし、収集運搬業者との連携を図りながら、衛生的で持続可能なし尿処理体制を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・し尿収集運搬業務の委託及び業者と利用者間の調整業務の実施 ・し尿処理施設の適切な維持管理及び経費負担

対象者	市民ほか（未水洗世帯、工事・イベント等仮設トイレ）	対象者数	899	単位あたりコスト	141.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	上下水道部、委託先：（株）アクアテック、（株）かんとーす、（株）クリア、（株）石丸浄水センター					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	7	京都府環境整備事業協同組合創立50周年記念大会			
需用費	397	し尿汲み取り券、ガソリン代ほか			
役務費	500	し尿汲み取り券売りさばき委託手数料ほか			
委託料	109,072	し尿収集運搬業務委託ほか			
使用料及び賃借料	74	複写機使用料			
負担金補助及び交付金	6,569	下水道し尿投入負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	118,359	117,288	116,753	0
	② 補正予算	△ 5,500	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	112,859	117,288	116,753	
予算財源内訳	① 一般財源	87,966	92,623	92,739	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	24,893	24,665	24,014	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	112,859	117,288		
	③ 執行額	111,551	116,619		
	④ 執行率	98.8%	99.4%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.62 / 2.00	0.60 / 2.00	/	/
	② 概算人件費	10,560	10,400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		122,111	127,019		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	し尿汲み取り手数料	衛生手数料	22,982	12	
	浄化槽清掃業務許可申請手数料	衛生手数料	2	12	
	一般廃棄物処理業務許可申請手数料	衛生手数料	2	12	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績		―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	kℓ	1,922	1,857	1,729	1,646		
	し尿収集量	当初見込		2,100	2,100	1,800	1,800	1,800	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	非水洗化便所を使用する世帯を対象に、定期的なし尿収集の実施、住民や事業所等の依頼に基づく随時収集（非水洗化便所・仮設便所）の対応、収集業者との契約による安定的なし尿収集・運搬体制の確保、くみ取り料金の適正な徴収及び未収対策の強化、非水洗化便所の維持管理に関する住民への啓発・周知活動の実施								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び本市の一般廃棄物処理計画に基づき、適正に処理を実施し、市民の衛生的な生活環境を確保した。 ・し尿収集運搬業務委託業務については、令和6年度から委託料の設計内容を再構築し、令和７年度より単年度契約から長期継続契約に移行し、業務の効率化や業者の安定経営を図った。 ・第三次合理化事業計画終了後の代替業務の取り扱いに関するガイドラインについては、下水道事業の業務発注形態の変更に伴うし尿収集運搬業者の組織体制のあり方、代替業務について収集運搬業者と協議を重ねガイドラインの「追補版その２」として段階的に整理してきた。今後の環境変化を見据え、これに対応した内容となるよう整理していく必要がある。 ・今後も安定した衛生環境を維持するため、し尿収集運搬業務を継続する必要がある。【定性的評価】
現状の課題に対する改善策	・今後も、法及び処理計画に基づき、持続可能なし尿処理体制を維持し、衛生的な市民生活の確保を図る。 ・第三次合理化事業計画終了後の代替業務の取り扱いに関するガイドラインについては、今後の環境変化を見据え、収集運搬業者と協議を重ねながら、実態に即した内容となるよう継続的に整理を進める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	環境衛生対策事業						事業コード	040103520130		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成					施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課			所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	01保健衛生費	目	03環境衛生費	会計	01 一般会計	決算附属資料	135 頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物処理及び清掃に関する法律第5条第6項									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇市民の生活空間における衛生的な環境を確保し、健康被害の予防や生活の質の向上を図る必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇公衆便所については、周辺施設等による代替機能の有無を確認し、適切な配置を再検討する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇公衆便所の適正配置及び維持管理により住環境の保全を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇蜂駆除防護服の貸出し 〇市内2か所の公衆便所の維持管理

対象者	全市民	対象者数	73,800	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（社）福知山市シルバー人材センター、個人、㈱細見組				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	227	公衆便所電気代、上下水道料			
委託料	481	公衆便所清掃業務、野家公衆便所清掃業務ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	676	658	2,086	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	676	658	2,086	
予算財源内訳	① 一般財源	676	658	686	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	1,400	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	51		
	② 配当予算	676	709		
	③ 執行額	645	708		
	④ 執行率	95.4%	99.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.21 / 0.00	0.07 / 0.05	/	/
	② 概算人件費	1,680	700		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		2,325	1,408		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	着	38	43	24	35		
	蜂駆除防護服の貸出し	目標値		50	50	50	50	50	
		達成度	%	76%	86%	48%	70%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	着	38	46	24	35		
	蜂駆除防護服の貸出し	当初見込		50	50	50	50	50	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民を対象に蜂駆除防護服の貸出を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	箇所	3	3	3	2		
	公衆便所の清掃・維持管理	目標値		3	3	3	2	2	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	605	605	605	605		
	公衆便所の清掃・維持管理	当初見込		605	605	605	605	605	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	公衆便所における定期的な清掃及び不具合のチェックを行うことで、衛生的な維持管理を図る。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○蜂による被害の事前防止に資することができた。 ○公衆便所の清掃維持に努め、市民その他の利用者に対して、公衆便所の利用に供することができた。 ○引き続き市民等に対して、公衆便所の利用に供するため、継続して衛生的に維持管理を行う。
現状の課題に対する改善策	○公衆便所については、令和7年度に1か所廃止した。その他についても、周辺施設等による代替機能の有無を確認し、適切な配置を再検討する必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	ごみの減量ふくちやまモデル推進事業							事業コード	040201202341		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課				所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	01清掃総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	142・143	頁
計画期間	開始年度	令和5年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画 福知山市埋立処分延命化実施計画 第五次循環型社会形成推進計画		R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の減量その他その適正な処理に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な方針廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	埋立処分場整備 環境パーク運転・維持管理 3R推進 ごみ収集運搬 リサイクル関連 の各事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇廃棄物処理法に基づき家庭ごみの処理責任は市町にあることから、本市においては10年を期間とする一般廃棄物処理基本計画を定め、家庭ごみをステーション収集・適正処分するとともに、ごみの減量・資源化対策を講じ、循環型社会の形成を推進する必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇ごみ処理施設の効率的な運営など持続可能なごみ処理体制の構築 〇プラスチック使用製品ごみの再商品化等ごみの資源化量の拡大、最終処分量の縮減 〇循環型社会の担い手を育成
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 〇循環型社会形成推進計画に示された循環型社会の将来像を実現することを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇福知山市一般廃棄物処理基本計画(ごみ処理基本計画2021)中間見直しの策定 〇廃棄物処理(中間処理施設)のあり方検討 〇プラスチック使用製品ごみの再商品化モデルの検証 〇一般廃棄物会計基準の導入に向けた調査 〇環境学習教材(映像)の改訂

対象者	市民及び事業者	対象者数	75,141	単位あたりコスト	0.5
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)エックス都市研究所、(株)オオバ、(株)福知山クリーンセンター、(株)富山環境整備、J&T環境(株)、(株)オフィス102、福知山バイオマス事業協同組合				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
報償費	8	プロポーザル評価委員への報償費			
旅費	81	京都府、環境省との協議に係る出張費			
需用費	131	プラ再商品化実証事業に係るチラシ印刷			
役務費	23	水道直結型ウォーターサーバーの保守メンテナンス			
委託料	23,584	プラ再商品化に向けた支援業務、施設のあり方検討業務等			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	17,832	24,359	23,282	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計(①～③)	17,832	24,359	23,282	
予算財源内訳	① 一般財源	0	847	8,206	
	② 国支出金	0	2,992	7,113	
	③ 府支出金	8,916	10,260	7,963	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	8,916	10,260	0	
決算情報	① 流充用額	△ 166	△ 532		
	② 配当予算	17,666	23,827		
	③ 執行額	17,611	23,827		
	④ 執行率	99.7%	100.0%		
人件概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	1.78 / 0.00	1.79 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	14,240	14,320		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		31,851	38,147		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	ごみの減量ふくちやまモデル推進事業(循環型社会形成推進交付金)	衛生費国庫補助金	2,713	17	
	ごみの減量ふくちやまモデル推進事業(きょうと地域連携交付金)	衛生費府補助金	5,536	24	
	ごみの減量ふくちやまモデル推進事業基金繰入(ふるさと納税基金)	基金繰入金	10,385	38	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	t	27,113	24,458	23,547	21,211		
	廃棄物搬入量	目標値		29,740	29,400	29,220	27,231	26,938	
		達成度	%	110%	120%	124%	128%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	3	3	3	4		
	環境審議会開催回数	当初見込		3	3	3	3	3	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	○ごみ処理施設のあり方検討に係る京都府や近隣市町等との意見交換会の開催。 ○プラスチック使用製品ごみ再商品化計画の検討。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○市民・事業者の協力により一般廃棄物処理基本計画に規定された施策を着実に推進し、ごみの減量・資源化目標は概ね達成できた。 ○ごみの資源化量を拡大し、最終処分量を減量させるため、効果的な啓発に努めるとともに新たな資源化手法の検討・実施を図る必要がある。 ○社会的要請や廃棄物処理を取り巻く環境変化を踏まえ、将来にわたって持続可能なごみ処理体制を構築していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	○廃棄物処理基本計画等関連計画の進捗管理。 ○プラスチック使用製品ごみ再商品化計画の検討。 ○一般廃棄物処理施設のあり方検討の着実な推進。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	清掃管理一般事業							事業コード	040201540119		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課				所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	01清掃総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	143	頁
計画期間	開始年度	昭和50年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☑ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇本市の廃棄物処理施設として、福知山市環境パークの運営を行っている。 〇そのため、環境パークの運営に関する一般行政事務を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇環境パークの運営に関する一般行政事務を効率的かつ円滑に行う必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 〇廃棄物処理等の市民サービスを充実させるために、環境パークの運営に関する一般行政事務を円滑に進めることを目的としている。 〇一般事務に要する予算を一括することで、円滑な予算管理が進み事務の効率化を進める。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇環境施策に関する調査回答、連絡調整などの生活環境課における全般的な事務の実施。 〇全国都市清掃会議の年会費の負担、旅費、公用車の管理などの課全般にわたる事務的経費を計上している。

対象者	全市民	対象者数	75,141	単位あたりコスト	0.2	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
旅費	103	普通旅費			
需用費	2,138	用度物品、その他消耗品、備品修繕、車検修繕料			
役務費	2,510	電話料、郵送料、車検代行手数料、車両法定点検			
使用料及び賃借料	1,224	複合機使用料、高速道路通行料、レンタカー賃貸借料			
負担金補助及び交付金	133	全国都市清掃会議年会費、安全運転管理者講習会			
公課費	162	車検時の自動車重量税、自動車税			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	2,781	5,642	16,053	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		2,781	5,642	16,053	
予算財源内訳	① 一般財源	2,112	4,894	7,378	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	4,500	
	⑤ その他特財	669	748	4,175	
決算情報	① 流充用額	166	628		
	② 配当予算	2,947	6,270		
	③ 執行額	2,946	6,270		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	3.57 / 0.91	0.51 / 0.75	/	/
	② 概算人件費	31,108	6,180		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		34,054	12,450		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	自動販売機設置貸付収入(生活環境課)	財産貸付収入	234	31	
	環境パーク広告収入	雑入	237	41	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	定性的評価	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	台	20	20	19	19		
	公用車両管理台数	当初見込		20	20	19	18	16	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	環境パークの施設維持に必要な共通諸経費の管理を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○一般廃棄物処理に要する作業車両等の老朽化により、維持管理経費は増加傾向にある。 ○職員に必要な資格取得のために計画的に取得を推進する必要がある。
現状の課題に対する改善策	○車両等については、更新計画を立て、必要なものから順に更新する。 ○管理車両の機能統合により減車を図る。 ○施設運営に必要な資格取得に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	不法投棄対策事業						事業コード	040202540108		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成					施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課			所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	144 頁
計画期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	―									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇本市域における不法投棄が後を絶たず、地域環境の悪化が懸念されることから、継続的な不法投棄防止の取組が必要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇不法投棄ごみの回収と再発の繰り返しであり、自治会等と連携して不法投棄をさせない環境づくりを含めた啓発が必要
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇不法投棄が多い重点監視地域を中心に巡回パトロールを実施し、早期発見・早期対応(回収)を行い、不法投棄防止を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇不法投棄が多い重点監視地点を中心に巡回パトロールを実施し、不法投棄されたごみを処理する。 〇不法投棄者の特定につながる物を発見した場合は、警察等と連携して注意、指導を行う。

対象者	全市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（公社）福知山市シルバー人材センター、（社福）しあわせネットワーク				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	109	不法投棄防止看板			
委託料	4,082	不法投棄防止パトロール等業務			
原材料費	600	不法投棄防止用柵資材（金網・鋼管等）			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	4,166	4,893	4,683	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		4,166	4,893	4,683	
予算財源内訳	① 一般財源	2,083	2,447	2,342	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	2,083	2,446	2,341	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	4,166	4,893		
	③ 執行額	4,131	4,792		
	④ 執行率	99.2%	97.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.13 / 0.00	0.04 / 0.15	/	/
	② 概算人件費	1,040	740		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		5,171	5,532		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	不法投棄対策事業（きょうと地域連携交付金）	種類	衛生府補助金	実績金額	1,717	決算附属資料	24 頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	t	5	4	3	4		
	不法投棄ごみ回収量	目標値		0	0	0	0	0	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	日	217	218	214	215		
	不法投棄パトロール回数	当初見込		218	218	218	218	218	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	不法投棄が多い重点監視地域を中心に巡回パトロールを実施。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○定期的なパトロールを行っているが、市所管外地での不法投棄も目立っている。 ○自治会の取組を支援するとともに、市民全体への啓発強化が必要である。
現状の課題に対する改善策	○回収と再発の繰り返しであり、警察や京都府と連携を取り、継続して不法投棄がある地域のパトロール活動を強化していく必要がある。 ○広報等による啓発、不法投棄防止用立看板の設置等、継続して対策に取り組む。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	資源ごみ集団回収報奨事業						事業コード	040202540113		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成					施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課			所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	144 頁
計画期間	開始年度	平成3年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	福知山市資源ごみ集団回収団体報奨金支給要綱									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇ごみの減量・資源化対策を講じ、循環型社会の形成を推進するため、市民が主体となった取組を支援していく必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇取組実施団体が減少している。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇ごみの減量・資源化を図るとともに、ごみ問題に対する意識の向上を図ることを目的とする。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇資源ごみ集団回収を実施する団体へ対し報奨金を支出する。

対象者	全市民	対象者数	75,343	単位あたりコスト	0.0
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	—				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
報償費	2,683	資源ごみ集団回収の回収実績(kg)×3円			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	3,892	3,370	3,253	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		3,892	3,370	3,253	
予算財源内訳	① 一般財源	1,946	1,685	1,627	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	1,946	1,685	1,626	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	3,892	3,370		
	③ 執行額	2,902	2,683		
	④ 執行率	74.6%	79.6%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.08 / 0.00	0.02 / 0.15	/	/
	② 概算人件費	640	580		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		3,542	3,263		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	資源ごみ集団回収報奨事業（きょうと地域連携交付金）	種類	衛生費府補助金	実績金額	962	決算附属資料	24 頁

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	t	1,297	1,123	967	894		
	資源ごみ集団回収量	目標値		1,696	1,683	1,677	1,645	1,632	
		達成度	%	76%	67%	58%	54%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	組織	77	75	74	70		
	資源ごみ集団回収登録団体数	当初見込		100	100	100	100	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	資源ごみ集団回収取組組織を拡大し、資源ごみ回収量を増加させるため、報奨金を支出する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○学校の統廃合や、地域の高齢化等の要因により、、活動団体数・集団回収量が減少傾向にある。
現状の課題に対する改善策	○広報や自治会回覧により、継続した活動や新たな登録を呼びかける。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	3R（スリーアール）推進事業						事業コード	040202540131		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成					施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課			所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	144 頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5次循環型社会形成推進基本計画									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	―									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○循環型社会の形成を推進するため、市民参画のもとで3R（リデュース、リユース、リサイクル）を実践するための事業に取組んでいる。 ○3Rのうち特にリデュース（ごみの減量）に係る啓発を優先的に実施し、市民の行動変容を促す必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○リサイクル体験教室への参加者拡大を図る必要がある。 ○効果的なごみの減量・資源化啓発手法を検討・実施する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ○循環型社会形成推進基本計画等に示された循環型社会の将来像（資源循環に配慮した消費行動）の実現を図る必要がある。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○リサイクル体験教室の開催 ○修理再生家具の展示販売によるリペア文化の促進 ○市内小学生を主な対象とした環境学習の実施 ○広報等によるごみの減量・資源化啓発

対象者	全市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	公益社団法人福知山市シルバー人材センター、エコ美遊				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	376	ごみパンフレット冊子増刷、A1ポスター作成、消耗品			
役務費	5	修理再生PL法保険料			
委託料	2,347	家具等修理再生委託料、体験教室運営業務委託			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	2,691	2,575	2,159	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
	小計（①～③）	2,691	2,575	2,159	
予算財源内訳	① 一般財源	1,048	0	0	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	1,345	1,287	1,079	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	298	1,288	1,080	
決算情報	① 流充用額	0	162		
	② 配当予算	2,691	2,737		
	③ 執行額	2,650	2,728		
	④ 執行率	98.5%	99.7%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.15 / 0.00	0.68 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	1,200	5,440		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		3,850	8,168		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	産業廃棄物手数料	衛生手数料	148	12	
	3R（スリーアール）推進事業（きょうと地域連携交付金）	衛生費府補助金	978	24	
	リユースショップ	物品売払収入	72	32	
	修理再生家具類	物品売払収入	59	32	
	体験教室参加者材料費	雑入	86	44	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	g/人日	522.6	510.8	496.6	492.1		
	一人１日あたりのごみの排出量	目標値		524.6	521.9	519.3	516.7	514.1	
		達成度	%	100%	102%	105%	105%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	501	732	657	569		
	環境学習（環境パーク施設見学）の開催	当初見込		600	600	600	600	600	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市内小学生を対象とした環境学習（環境パーク施設見学等）の開催。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	g/人日	522.6	510.8	496.6	492.1		
	一人１日あたりのごみの排出量	目標値		524.6	521.9	519.3	516.7	514.1	
		達成度	%	100%	102%	105%	105%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	341	388	365	281		
	リサイクル体験教室参加者	当初見込		660	660	660	420	200	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	リサイクル体験教室の企画・開催（令和8年度よりリサイクル体験教室を廃止しリペアカフェふくちやまを開催）								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○リサイクル体験教室の実施団体は高齢化等のため継続が難しい状況である。 ○生活スタイルの変化から再生可能な家具の搬入が減少している。
現状の課題に対する改善策	○新たなごみの減量・資源化啓発の取組としてリペアカフェを開催する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	ごみ焼却施設修繕事業							事業コード	040202540138		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち					政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり			
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課					所属長	間島 哲哉			
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	144･145	頁
計画期間	開始年度	平成12年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器リサイクル法、ダイオキシン特別措置法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	環境パーク運転･維持管理事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、リサイクルプラザ修繕事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇平成12年から稼働しているごみ焼却施設の改修等を行う事業であり、平成25年から基幹的設備改修工事を実施し大規模改修を行ったが、その後10年が経過している。 〇焼却炉を2炉有しており、状況に応じた炉数を稼働させることで市内から排出されるごみを適正に焼却処分するとともに、保全作業を実施して安定稼働を図っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと･最も直すべきところ 〇施設を延命化させるために設備改修を行っているが、継続的な工事費用が必要である。 〇将来的な施設のあり方を検討する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇平成12年度から稼動している焼却施設を計画的に改修、整備することで施設の安定的な運用を行い、法令及び公害防止協定を遵守しながら、廃棄物の適正処理を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段･手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇3年毎に施設の精密機能検査を実施しており、施設の現状を把握しつつ長期的な改修計画を立てることで、予算を平準化させながら燃焼設備、排ガス処理施設や焼却灰搬出装置などの改修工事を行う。 〇施設の運転管理業者と密に連携し、平時より保全業務を行うことで緊急的な修繕対応を未然に防ぐ。 〇適切な施設整備を行うことで、法令及び公害防止協定を遵守する。

対象者	全市民	対象者数	75,141	単位あたりコスト	4.3	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先･実施主体等	—					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	2,869	ごみ焼却施設用消耗品及び設備修繕料			
役務費	12	証明書発行手数料			
工事請負費	311,215	ごみ焼却施設ごみ焼却炉耐火物ほか改修工事 ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	373,877	311,826	150,913	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		373,877	311,826	150,913	
予算財源内訳	① 一般財源	3,012	2,726	1,813	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	352,300	293,600	149,100	
	⑤ その他特財	18,565	15,500	0	
決算情報	① 流充用額	128	2,352		
	② 配当予算	374,005	314,178		
	③ 執行額	373,111	314,096		
	④ 執行率	99.8%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.58 / 0.05	0.71 / 0.10	/	/
	② 概算人件費	4,780	5,960		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		377,891	320,056		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	ごみ焼却施設修繕事業基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	16,127	37	
	ごみ焼却施設修繕事業(旧合併特例)	衛生債	262,100	49	
	ごみ焼却施設修繕事業（一般廃棄物処理）（単独）	衛生債	26,300	49	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	項目	5	5	5	5		
	公害防止協定、協定値の遵守（協定値以下）	目標値		5	5	5	5	5	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	t	17,123	15,041	14,539	14,407		
	ごみ焼却量	当初見込		15,832	15,621	15,499	16,738	16,499	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	整備計画を基に改修工事を実施しつつ、日常点検から修繕等が必要な箇所を見極め、必要な改修を継続して行う。 月に1回以上運転管理の委託業者との調整会議の場を設け、施設の稼働状況や運転方針について協議する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○施設の計画的な改修を行うことにより施設の延命化を図り、市内で発生するごみの安定かつ適正な処理が行なえた。 ○排ガス分析計の故障により、2炉同時稼働が出来なくなり、更新工事が完了するまでに災害等の緊急的な事象に対応できない状況となった。 ○ごみの焼却処理に発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。 ○施設の老朽化が進行する中、事業に係るコストが増大するため、改修計画の見直し等が必要となっている。
現状の課題に対する改善策	○廃棄物を安定かつ適正に処理を行うとともに、更なる効率化と経費の削減を図る。 ○改修対象設備の優先順位を設定し、計画的に改修工事を施工する。 ○排ガス分析計については、令和8年度に更新工事を実施を予定しており、できる限り早く機能復旧をめざす。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	水処理施設運転･維持管理事業					事業コード	040202540142			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施 策 名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成				施策コード	222			
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課			所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	145 頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	一般廃棄物処理基本計画		R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	―									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇水処理施設は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく、最終処分場には必要な施設である。 〇環境パーク、三和町、夜久野町、大江町の最終処分場からの浸出水を、適正に処理し河川に放流するために、それぞれの最終処分場に水処理施設が設置されている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと･最も直すべきところ 〇埋立が終了している夜久野町、大江町の最終処分場に関しては、廃止に向けて調整が必要である。 〇どの水処理施設も、経年により劣化してきているため、今後の維持管理費が増加する可能性がある。 〇三和町の最終処分場に関しては、廃棄物の受入は完了しているが、覆土が未完のため、継続して管理する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇各最終処分場からの浸出水を河川放流するために、放流水質を法令の排出基準及び環境保全協定に定められた排出基準まで浄化処理する。 〇排出基準を遵守するため、計画的な整備を行うとともに、水処理施設の適正かつ安定した稼働と適切な施設管理を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段･手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇適切な施設管理を行うため、水処理施設の運転･維持管理業務を委託した。 〇放流水質の排出基準遵守のため、定期的な活性炭の入替業務の委託や機械･設備部品、薬品等の消耗品を計画的に購入した。 〇水処理施設の適切な施設維持を行うため、除草･剪定業務等を委託した。

対象者	全市民	対象者数	74,009	単位あたりコスト	0.6	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先･実施主体等	公益社団法人福知山市シルバー人材センター、株式会社アクアテック、不二化学薬品株式会社福知山営業所、有限会社サニタリー京都					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	15,193	光熱水費、薬品費、消耗品			
役務費	287	浄化槽法定点検手数料、電話料			
委託料	25,219	除草･剪定業務、水処理施設汚泥管理業務、活性炭入替業務 ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区 分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	40,224	43,752	43,576	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		40,224	43,752	43,576	
予算財源内訳	① 一般財源	17,192	15,613	43,576	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	23,032	28,139	0	
決算情報	① 流充用額	598	△ 3,020		
	② 配当予算	40,822	40,732		
	③ 執行額	40,803	40,699		
	④ 執行率	100.0%	99.9%		
人概工算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.31 / 0.00	0.34 / 0.20	/	/
	② 概算人件費	2,480	3,280		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		43,283	43,979		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁
		産業廃棄物手数料		衛生手数料		4,320		12	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】 放流水の法令及び環境保全協定に定められた排出基準の遵守	目標値		―	―	―	―	―	
		達成度	%	―	―	―	―	―	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	―	―	―	―	―		
	【定性的評価】	当初見込		―	―	―	―	―	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	水処理施設の適正かつ安定した運転のための運転・維持管理業務、除草・剪定業務、浚渫業務、活性炭入替業務等を委託した。 施設整備のための機械・設備部品及び浸出水の浄化処理のための薬品等を購入した。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○水処理施設の計画的な整備を行うとともに、適正かつ安定した稼働と適切な施設管理により、放流水の法令基準及び環境保全協定の排出基準を遵守することができた。 ○水処理施設の老朽化により、今後、維持管理費の増加が考えられる。 ○埋立が終了した最終処分場を廃止することにより、維持管理費を抑えられる。
現状の課題に対する改善策	○計画的な整備を行うことにより、施設の延命化を図る必要がある。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	第4期埋立処分場整備事業						事業コード	040202540148		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成					施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課			所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	145 頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名	一般廃棄物処理基本計画、福知山市循環型社会形成推進地域計画	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇既存の埋立処分場の残余容量が徐々に減少している。 〇平成30年度より第1期・第2期埋立処分場の嵩上げ整備を順次行うことで、埋立容量の確保を図っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇現在の場所での新たな埋立処分場の整備計画は、最後となる。 〇今後の埋立処分場については、新たに整備計画の検討が必要である。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇将来にわたって廃棄物の適正処理が可能な処理能力を確保するため、第1期・第2期埋立処分場隣接に第4期埋立処分場の整備を行い、更なる埋立容量を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇埋立処分場造成工事を実施した。（土工、排水構造物工、構造物撤去工）

対象者	全市民	対象者数	75,141	単位あたりコスト	0.4	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	(株)リサーチアンドソリューション					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
役務費	1,018	第4期不燃物埋立処分場 構造検討業務			
委託料	385	電子計算機等保守管理			
工事請負費	25,900	第4期埋立処分場整備工事前金払			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	444,648	68,385	385	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	283,363	△ 42,100	0	0
	前年度繰越	283,363	0	0	
	次年度繰越	0	△ 42,100	0	0
	小計(①～③)	728,011	26,285	385	
予算財源内訳	① 一般財源	79,311	305	385	
	② 国支出金	122,000	5,280	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	461,200	20,700	0	
	⑤ その他特財	65,500	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	1,018		
	② 配当予算	728,011	27,303		
	③ 執行額	631,208	27,303		
	④ 執行率	86.7%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.31 / 0.00	0.56 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	2,480	4,480		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		633,688	31,783		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	第4期埋立処分場整備事業（循環型社会形成推進交付金）	衛生費国庫補助金	8,280	17	
	第4期埋立処分場整備事業（一般廃棄物処理）（補助）	衛生債	14,900	50	
	第4期埋立処分場整備事業（一般廃棄物処理）（単独）	衛生債	700	50	
	第4期埋立処分場整備事業（行政改革推進）	衛生債	2,000	50	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—		
	【定性的】 第4期埋立処分場の整備を行い、埋立容量を確保する。	目標値		—	—	—	—	—	
		達成度	%	—	—	—	—	—	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	%	100	100	100	40		
	単年度あたりの事業進捗率	当初見込		100	100	100	100	100	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	埋立処分場造成工事を実施した。（土工、排水構造物工、構造物撤去工）								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○今後、水処理施設の建設工事（3か年継続費）による工事を予定している。 ○計画している全体事業費に対して、人件費、物価高騰による事業費の増加が予想される。
現状の課題に対する改善策	○随時、事業の全体計画を確認し、進捗の把握に努める。 ○浸出水処理施設の建設については、廃棄物の処理量等を考慮し、適正規模の施設整備に努める。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	環境パーク運転・維持管理事業							事業コード	040202540154		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課				所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	145	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業、水処理施設運転・維持管理事業、リサイクルプラザ修繕事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇市民の生活から日常的に排出される廃棄物を適切に処理するため、環境パークの適正かつ安定的な運営を行う。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇環境パークの継続的な維持管理を行うために、限られた予算の中で効果的かつ効率的な事業を実施する。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇環境パークの安定的な運営に努め、市民生活の安全安心を確保する。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇環境パークの適切な運転及び維持管理のための燃料、薬品、電力、消耗品等の調達及び業務委託等の発注 〇最終処分場の浸出水処理施設における公害防止協定及び排水基準に基づく排水測定、法に基づく排ガス等の測定分析

対象者	全市民	対象者数	75,141	単位あたりコスト	2.9	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	（株）福知山クリーンセンター、福知山環境事業協同組合、（株）ファノバ福知山営業所、（株）ハヤシハウジング、アムスセキュリティサービス（株） ほか					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
報償費	20	委員謝礼	原材料費	12	道路補修用常温合材
旅費	45	フォークリフト技能講習に係る旅費	備品購入費	10,907	ホイルローダー、カラス捕獲檻 ほか
需用費	137,941	光熱水費、消耗品、燃料費及び設備修繕料 ほか	負担金補助及び交付金	203	公害健康被害の補償等に関する汚染負荷量賦課金 ほか
役務費	684	車検整備費用 ほか			
委託料	60,129	排ガス・水質等測定分析業務、埋立処分場管理業務 ほか			
使用料及び賃借料	306	公用車及び複合機賃貸借料 ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	242,935	209,547	201,398	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		242,935	209,547	201,398	
予算財源内訳	① 一般財源	76,017	71,371	32,174	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	1,859	1,859	1,978	
	④ 地方債	0	9,000	0	
	⑤ その他特財	165,059	127,317	167,246	
決算情報	① 流充用額	△ 1,703	729		
	② 配当予算	241,232	210,276		
	③ 執行額	235,875	210,247		
	④ 執行率	97.8%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	2.43 / 4.27	0.66 / 0.45	/	/
	② 概算人件費	31,396	6,540		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		267,271	216,787		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	産業廃棄物手数料	衛生手数料	13,874	12	
	下水道(灰・しさ)処理手数料	衛生手数料	5,562	12	
	環境パーク運転・維持管理事業（きょうと地域連携交付金）	衛生費府補助金	1,419	24	
	重機（生活環境課）	物品売払収入	3,080	32	
	環境パーク運転・維持管理事業（旧合併特例）	衛生費	8,300	50	
	市庁外ごみ手数料ほか	衛生手数料	80,797	12	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	項目	89	89	89	89		
	公害防止協定における協定値の遵守（測定項目数）	目標値		89	89	89	89	89	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	t	21,781	19,752	19,089	19,623		
	廃棄物処理量（中間処理施設処理量）	当初見込		20,559	20,300	20,146	24,417	24,153	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	市民生活から日常的に排出される廃棄物の適正処理を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○施設の適切な維持管理を行うことにより、市民生活で発生する廃棄物の安定かつ適正な処理を行った。 ○処理施設の適正な運転・維持管理により、廃棄物処理の過程で発生する有害物質発生の抑制及び除去を行い、法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。
現状の課題に対する改善策	○廃棄物の安定かつ適正な処理を行なうとともに、施設の運転管理に係る手法を研究し、更なる効率化と経費の削減を図る。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	リサイクルプラザ修繕事業							事業コード	040202540155		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち					政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり			
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課					所属長	間島 哲哉			
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	146	頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容リ法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	環境パーク運転・維持管理事業、ごみ焼却施設修繕事業、廃棄物処理施設等運転管理委託事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇リサイクルプラザは市内から排出される一般廃棄物のうち、不燃・粗大ごみ、缶類、容器包装プラスチック、ペットボトルを処理・処分、再資源化するために必要不可欠な施設である。 〇平成15年度より稼働している施設であり、各所に経年劣化がみられることから計画的な修繕・改修が必要である。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇整備補修計画に沿った工事の施工。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇市民の生活から日常的に排出される廃棄物の再資源化を行なうため、リサイクルプラザの適正かつ安定的な運用を行う。 〇経年劣化に伴う性能低下が著しいリサイクルプラザの各機械及び電気設備を計画的に整備することで、リサイクルを適正に行っていく。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇計画的な施設の運転・維持管理を実施するため令和7年度から令和16年度までの整備補修計画を作成。 〇施設の定期点検等を実施し施設の現状把握、それに伴う修繕等を早期に実施。 〇施設の運転・維持管理業者と密に連携を図り、早期工事を実施。 〇施設の安全な運転・維持管理に必要な物品購入等を計画的に実施。

対象者	全市民	対象者数	73,891	単位あたりコスト	2.0	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先・実施主体等	三菱重工環境・化学エンジニアリング（株）関西支店、井上(株)、鎌長製衡（株）大阪支店、福知山環境事業協同組合、(株)衣川鉄工所、（株）ファノバ福知山営業所ほか					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	4,058	容器包装プラスチック手選別コンベヤインバーター取替緊急修繕ほか			
役務費	99	不燃ごみ用破砕機出口監視カメラIPアドレス設定作業			
委託料	979	リサイクルプラザ　ペットボトル梱包機点検業務ほか			
工事請負費	134,618	リサイクルプラザ破砕設備ほか改修工事ほか			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	136,746	139,817	55,416	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		136,746	139,817	55,416	
予算財源内訳	① 一般財源	6,726	2,917	2,416	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	123,500	130,000	53,000	
	⑤ その他特財	6,520	6,900	0	
決算情報	① 流充用額	△ 440	103		
	② 配当予算	136,306	139,920		
	③ 執行額	133,271	139,754		
	④ 執行率	97.8%	99.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.76 / 0.50	0.86 / 0.15	/	/
	② 概算人件費	7,480	7,300		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		140,751	147,054		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	リサイクルプラザ修繕事業基金繰入（公共施設等総合管理基金）	基金繰入金	6,818	37	
	リサイクルプラザ修繕事業(旧合併特例)	衛生債	127,800	50	
	建物総合損害共済災害共済金	雑入	27	43	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	項目	9	9	9	9		
	搬入廃棄物の分別処理(完全処理)	目標値		9	9	9	9	10	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	t	3,854	3,898	3,605	5,171		
	リサイクルプラザ処理量	当初見込		3,926	3,886	3,860	6,908	6,893	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	リサイクルプラザの整備補修計画に沿った改修工事の実施。 設備の定期点検および日々の点検作業の実施。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○施設の計画的な工事・修繕を行うことにより、市内で発生する一般廃棄物（不燃・粗大ごみ、缶類、容器包装プラスチック、ペットボトル）の安定かつ適正な分別処理が行えた。 ○リサイクルプラザの整備補修計画に基づく施設の延命化を図ることができた。 ○本施設は稼働から21年が経過しており、今後施設の老朽化が進む中、経年劣化に伴う、突発的な設備の故障等が実際に発生しており計画的な修繕・工事を実施していく必要があるが、年間で実施できる修繕・工事の制限もあるため優先順位をつけ施設の維持管理を実施する。
現状の課題に対する改善策	○整備計画に基づき、効率的な改修工事を実施する。 ○日々の点検を継続的に行い劣化箇所の早期発見、早期対応に努める。 ○突発的な設備の故障を予防保全するため、耐用年数を考慮した計画的な部品の交換等を実施する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	ごみ収集運搬事業						事業コード	040202540171		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成					施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課			所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	146 頁
計画期間	開始年度	昭和57年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R8現在の状況	継続中
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5次循環型社会形成推進基本計画									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	指定ごみ袋作製事業									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇廃棄物処理法に基づき家庭ごみの処理責任は市町にあることから、本市においては10年を期間とする一般廃棄物処理基本計画を定め、家庭ごみをステーション収集・適正処分するとともに、ごみの減量・資源化対策を講じ、循環型社会の形成を推進する必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇ステーションへのごみ出しが困難な世帯に対する支援策を検討・実施する必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇市民から排出される家庭系廃棄物(燃やすごみ、燃やさないごみ、資源ごみ、粗大ごみ)の分別収集を行うことによる衛生的で快適な生活環境の確保を図る。 〇分別収集によるごみの資源化量の拡大と資源化率の改善、ごみの減容化による最終処分量の縮減と最終処分率の改善を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇有料指定ごみ袋による家庭ごみのステーション収集を実施 〇資源ごみ等の家庭ごみステーション収集を実施 〇粗大ごみ等の戸別収集を実施 〇指定ごみ袋の作成及び流通管理を実施 〇年末における環境パークの臨時開場を実施

対象者	全市民	対象者数	75,471	単位あたりコスト	7.8
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	㈱福知山クリーンセンター、㈲福環、福知山環境センター企業組合、エコノスジャパン㈱、㈱アクアテック、福知山バイオマス事業協同組合、福知山環境事業協同組合、㈲京都事務機販売				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	32,548	家庭ごみ袋作製業務、地域美化作業専用ごみ袋作製ほか			
役務費	23,708	指定ごみ袋処理手数料			
委託料	507,250	廃棄物収集運搬業務（4件）、粗大ごみ等収集運搬業務			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	503,821	569,494	598,236	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		503,821	569,494	598,236	
予算財源内訳	① 一般財源	343,469	440,416	467,123	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	160,352	129,078	131,113	
決算情報	① 流充用額	171	△ 1,018		
	② 配当予算	503,992	568,476		
	③ 執行額	503,992	563,506		
	④ 執行率	100.0%	99.1%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.28 / 0.00	1.82 / 4.85	/	/
	② 概算人件費	2,240	28,140		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		506,232	591,646		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	指定ごみ袋処理手数料	衛生手数料	125,603	12	
	粗大ごみ収集手数料	衛生手数料	2,285	12	
	指定ごみ袋広告収入	雑入	80	41	
	違約金及び延納金	雑入	495	48	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	t	13,007	12,468	12,014	11,818		
	家庭ごみ収集（ステーション収集）量	目標値		13,023	12,895	12,805	12,539	12,397	
		達成度	%	100%	103%	107%	106%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	箇所	2,381	2,400	2,403	2,434		
	家庭ごみ収集（ステーション収集）回数	当初見込		2,360	2,381	2,400	2,405	2,405	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	一般廃棄物処理基本計画に基づく家庭ごみのステーション収集を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○生活様式の多様化により、家庭ごみの分別区分の判断が難しいケースがある。 ○高齢化等により、ステーションへのごみ出しが困難な世帯が増加している。 ○分別不良によるリチウムイオン電池など危険ごみが混入し収集車火災等の問題が発生している。
現状の課題に対する改善策	○市ホームページやLINEの活用により、ごみ分別区分の周知を行う。 ○高齢者等ごみ出し困難世帯への支援施策を実施する。 ○リチウムイオン電池等の家庭ごみ収集を実施する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	廃棄物処理施設等運転管理委託事業							事業コード	040202540172		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課				所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	146	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律、ダイオキシン類対策特別措置法										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	環境パーク運転・維持管理事業、ごみ焼却施設修繕事業、リサイクルプラザ修繕事業、水処理施設運転・維持管理事業										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 〇市民から搬出される廃棄物を適正に処理するため、廃棄物処理施設を安定的に運用する。 〇施設運転業務における日々の点検により、早期に故障箇所を突き止め、計画的に整備を行うことで施設の延命化を図っている。 〇施設の適切な運転管理により、各種根拠法令及び地元との公害防止協定数値の遵守に努めている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 〇人件費及び材料費の高騰により受注業者との契約額が上昇している。 〇稼働から25年経過していることから、定期点検の実施時に経年による劣化が見られ補修や改修が必要な箇所が散見される。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 〇環境パーク内の施設の適切な運転管理により、廃棄物の適正処理を行う。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 〇施設の運転計画を作成し、焼却炉の稼働調整により適正に廃棄物を処分している。 〇各施設の適正な運転操作により有害物質を抑制し、法令や公害防止協定の値を遵守している。 〇設備の定期点検を実施することで設備の故障を未然に防ぎ、受け入れた廃棄物を適正に処理している。

対象者	全市民	対象者数	75,141	単位あたりコスト	2.6
実施方法	☐ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	株式会社ファノバ 福知山営業所				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
委託料	193,644	廃棄物処理施設 運転・維持管理業務			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	168,129	193,644	193,644	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		168,129	193,644	193,644	
予算財源内訳	① 一般財源	52,018	49,866	36,106	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	116,111	143,778	157,538	
決算情報	① 流充用額	0	0		
	② 配当予算	168,129	193,644		
	③ 執行額	168,128	193,644		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.12 / 0.00	0.16 / 0.05	/	/
	② 概算人件費	960	1,420		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		169,088	195,064		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
一般廃棄物手数料	衛生手数料	35,882	12	
産業廃棄物手数料	衛生手数料	464	12	
下水道(灰・しさ)処理手数料	衛生手数料	8,344	12	
市庁内ごみ手数料	衛生手数料	4,153	12	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	自治会	30	30	30	30		
	公害防止協定（水質検査結果報告）	目標値		30	30	30	30	30	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	t	27,113	24,458	23,547	21,211		
	廃棄物搬入量	当初見込		29,740	29,400	29,220	27,231	26,938	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	有資格者による施設の運転及び維持管理を行うことにより、適正な施設運営及び廃棄物処理を行う。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※**直接アウトカム・・・**下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※**アウトプット・・・**アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ・・・**アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 〇適切な施設の維持管理を行うことにより、市内で発生する廃棄物の安定かつ適正な処理が行なえた。 〇廃棄物処理の過程で発生する有害物質の発生を抑制、除去を行ない、法令及び公害防止協定に定められている基準値を下回る測定結果を得た。 〇老朽化が進む施設の予防保全に向けた運転管理が必要となる。
現状の課題に対する改善策	〇廃棄物処理を安定かつ適正に処理を行なうとともに、更なる効率化と経費の削減を図る。 〇過去の運転データを基に効率的な運転手法を検討する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	リサイクル関連事業						事業コード	040202540194		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち			政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成					施策コード	222		
事業担当	所属	021500 市民生活部生活環境課			所属長	間島 哲哉				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	02じん芥処理費	会計	01 一般会計	決算附属資料	146 頁
計画期間	開始年度	平成15年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名	福知山市一般廃棄物処理基本計画	R8現在の状況	継続中		
根拠法令等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律第5次循環型社会形成推進基本計画									
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）									
関連事業	—									

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ○廃棄物処理法に基づき家庭ごみの処理責任は市町にあることから、本市においては10年を期間とする一般廃棄物処理基本計画を定め、家庭ごみをステーション収集・適正処分するとともに、ごみの減量・資源化対策を講じ、循環型社会の形成を推進する必要がある。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ○プラスチック使用製品ごみの再商品化など資源化（リサイクル）の高度化を図る必要がある。
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） ○ごみの資源化量の拡大と資源化率の改善、ごみの減容化による最終処分量の縮減と最終処分率の改善を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○市内で排出されたごみの減容化・資源化を行う。 ○資源化の高度化を図るため、資源化可能品目を増やす。

対象者	全市民	対象者数	76,037	単位あたりコスト	1.9
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 （ ）				
委託先・実施主体等	（社）福知山市シルバー人材センター、福知山環境事業協同組合、（福）みつみ福祉会、（株）アクアテック、日本容器包装リサイクル協会(実施主体先)ほか				

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
需用費	1,140	ドラム缶・PPバンド・フレコンバッグ購入ほか			
役務費	522	フォークリフト・ショベルローダー年次検査修繕ほか			
委託料	133,413	廃棄物中間処理業務委託料			
使用料及び賃借料	2,871	危険ごみ破砕処理装置賃貸借料			
負担金補助及び交付金	102	廃蛍光管・乾電池処理負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	92,511	138,479	142,933	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		92,511	138,479	142,933	
予算財源内訳	① 一般財源	29,518	0	92,424	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	62,993	138,479	50,509	
決算情報	① 流充用額	6,537	△ 327		
	② 配当予算	99,048	138,152		
	③ 執行額	98,686	138,048		
	④ 執行率	99.6%	99.9%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.59 / 0.02	0.65 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	4,776	5,200		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		103,462	143,248		

主な利用特財（R7年度実績値）

特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
産業廃棄物手数料	衛生手数料	12,678	12	
市庁内ごみ手数料	衛生手数料	2,883	12	
市庁外ごみ手数料	衛生手数料	34,470	12	
空き缶	物品売払収入	24,317	32	
空きびん	物品売払収入	97	32	
金属くず(生活環境課)ほか	物品売払収入	24,132	32・33	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	t/年	8,146	7,149	7,237	3,810		
	最終処分量	目標値		9,718	9,601	9,547	7,970	7,889	
		達成度	%	119%	134%	132%	209%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	t	2,189	2,174	1,821	1,674		
	資源化量（一般廃棄物及び産業廃棄物、中間処理による資源化）	当初見込		1,722	1,708	1,695	2,033	2,052	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	再分別・減容・固形化により、家庭ごみを資源化し、最終処分量を縮減する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	○一般廃棄物処理基本計画で示している資源化率の目標を上回る資源化量・最終処分量であった。しかし、引き続きごみの減量化及び分別排出の精度を高める啓発に努め、同計画に基づくの資源化施策を着実に推進していく必要がある。
現状の課題に対する改善策	○市民・事業者へのごみの減量・資源化に係る啓発を継続して実施する。 ○プラスチック資源循環促進法に基づくプラスチック使用製品廃棄物ごみの再商品化を実施する。 ○資源化の拡大を図るうえで、さらなる資源可能品目を模索する。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	福知山鉱山坑廃水処理場管理運営事業							事業コード	070102540601		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち					政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり			
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所属	250500 産業部産業課					所属長	大江 秀也			
会計情報	款	07商工費	項	01商工費	目	02商工業振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	163・164	頁
計画期間	開始年度	平成11年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務	☑ 国府補助事業	☐ 市単独事業	☐ 内部庶務的事業	☐ その他 （ ）						
関連事業	—										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 旧福知山鉱山は17世紀ごろ主に銀を対象として採掘が行われていたが、1969年（昭和44年）に放棄され、以降義務者不存在となっている。その後旧大江町が休廃止鉱山鉱害防止事業として、平成12年に旧福知山鉱山鉱害防止施設（現：福知山鉱山坑廃水処理場）を建設し、現在は原課において旧福知山鉱山坑道（第3坑口）から排出される坑廃水（強酸性）の処理を委託業者へ発注し、在田川の水質管理を目的として施設維持管理業務を行っている。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・半永久的に排出される坑廃水の処理（坑廃水処理施設の維持管理には施設修繕費及び消耗資材の購入に年間約20,000千円以上の費用がかかっている。）
事業目的 (5行程度以内)	※背景（現状）、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。（紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入） 旧福知山鉱山の坑道から排出される強酸性（ph3）で金属成分を含む廃水を適正に処理し、河川に放流することで市民生活の安全の確保と流域の自然環境の保全を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰（何）を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・地元市民の生活安全の維持を目的として、旧福知山鉱山坑道から排出される強酸性（ph3）で金属成分を含む廃水を導水管により坑廃水処理場へ流し、薬剤などで中和処理した処理後の水を河川へ放流する。 ・処理後の汚泥は脱水し産業廃棄物として適切に埋立処理を行う。 ・年間365日稼働

対象者	大江町の市民	対象者数	3,790	単位あたりコスト	15.4	
実施方法	☑ 直接実施	☑ 業務委託	☐ 指定管理	☐ 補助金交付	☐ その他 （ ）	
委託先・実施主体等	トミタ環境（株）福知山営業所、（株）京都環境保全公社、（一社）京都微生物研究所 ほか					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績（R7）	主な業務内容	費目	実績（R7）	主な業務内容
旅費	10	職員出張旅費（再発防止対策協議）			
需用費	9,418	消石灰、凝集剤、その他消耗品費、処理場光熱費			
役務費	113	建物総合損害共済、浄化槽法定検査及び汚泥溶出検査			
委託料	42,297	処理場維持管理、導水管高圧洗浄、警備、汚泥運搬埋立、水平ボーリング調査業務等			
使用料及び賃借料	14	福知山鉱山鉱害防止事業用地賃借料			
公課費	22	福知山鉱山坑廃水処理場汚泥埋立処分料			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6（評価前年度）	R7（評価年度）	R8（本年度）	R9（要求年度）
予算情報	① 当初予算	21,675	33,736	38,602	0
	② 補正予算	4,000	16,000	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計（①～③）		25,675	49,736	38,602	
予算財源内訳	① 一般財源	3,677	6,246	5,380	
	② 国支出金	18,852	37,274	28,473	
	③ 府支出金	3,142	6,212	4,745	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	4	4	4	
決算情報	① 流充用額	383	2,138		
	② 配当予算	26,058	51,874		
	③ 執行額	26,058	51,874		
	④ 執行率	100.0%	100.0%		
人工概算	① 従事職員数（正職員 /会計年度任用職員）	0.65 / 0.00	0.80 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	5,200	6,400		
トータルコスト（予算執行額+概算人件費）		31,258	58,274		

主な利用特財（R7年度実績値）	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	休廃止鉱山鉱害防止事業	商工費国庫補助金	35,988	17	
	休廃止鉱山鉱害防止事業	商工費府補助金	5,997	26	
	電柱等占用料	商工使用料	4	8	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	日	365	365	365	365		
	処理日数のうち水質が目標基準内で処理できた日数	目標値		365	365	365	365	365	
		達成度	%	100%	100%	100%	100%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	12	12	12	12		
	坑廃水の処理水について、放流前に水質検査を実施する。	当初見込		12	12	12	12	12	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	○福知山鉱山坑廃水処理場の維持管理事業者等に対し、適正な坑廃水処理を行うよう監理・監督する。 ○国、京都府、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構等と連携し、福知山鉱山坑廃水処理を適正に行う。 ○地元住民に対し、適正に坑廃水処理が行えていることを随時お知らせする。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%						
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	・施設の維持管理や施設等修繕を計画的に行うほか、緊急修繕等にも対応し、目標基準内での坑廃水処理を実行している。 ・坑廃水処理を外部委託しているものの、委託業者に指示するにあたり、水質管理や施設修繕等に関する一定の技術的な知識、能力が求められる。 ・令和5年6月18日に旧福知山鉱山から排出される坑廃水が処理場の処理能力を超えたことにより発生した未処理坑廃水の流出事故を受け、再発防止策の一環として令和6年度にバルブ工事を実施した。令和7年度は坑道内の改良工事に向けて設計を行う予定であったが、管内カメラ調査により坑道内の状況が図面と異なることが明らかとなり、構造把握のための水平ボーリングを実施した。令和8年度は流出対策の効果を高めるための給源調査を実施する予定である。今後も地元の意見や維持管理委託業者、鉱山専門機関との協議を行い、再発防止に努めていく。 ・本施設は稼働から20年以上が経過しており、毎年、老朽化や磨耗劣化等により部品等の交換や修繕を実施しているが、処理費用は年間約20,000千円以上かかっている。 ・緊急的な修繕が多発しており、長期的な修繕計画の必要性が高まっている。
現状の課題に対する改善策	・修繕計画を国や府と共有し、補助金を活用することによりコスト削減を図っている。 ・未処理坑廃水の流出を受け、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）と連携し、今後の対応方針を協議していく。

福知山市 令和8年度事務事業評価シート

Ⅰ 事業属性

（単位：千円）

事業名	水洗化促進補助事業							事業コード	040201540318		
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち				政策目標	2 地球環境に配慮した持続可能なまちづくり				
	施策名	2 廃棄物の適正処理と循環型社会の形成						施策コード	222		
事業担当	所属	750100 上下水道部上)経営総務課				所属長	大江 純子				
会計情報	款	04衛生費	項	02清掃費	目	01清掃総務費	会計	01 一般会計	決算附属資料	143･144	頁
計画期間	開始年度	平成元年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	福知山市循環型社会形成推進地域計画			R8現在の状況	継続中	
根拠法令等	福知山市浄化槽設置整備事業補助金交付要綱、福知山市浄化槽維持管理事業補助金交付要綱、福知山市浄化槽修繕費補助金交付要綱										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☑ 国府補助事業 ☑ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事業 ☐ その他 （ ）										
関連事業	―										

Ⅱ 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 浄化槽整備区域内の水洗化を促進するため、合併処理浄化槽の新規設置や維持管理、緊急的な修繕等を行った者に対して補助金を交付している。
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと･最も直すべきところ 浄化槽整備区域内の未水洗家屋等の水洗化への転換。
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 浄化槽整備区域内の水洗化を促進することで、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成を図る。
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段･手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること 浄化槽整備区域内の水洗化を促進するため、10人槽以下のし尿と雑排水を併せて処理する合併処理浄化槽(以下「合併処理浄化槽」という。)を設置する者に対し、浄化槽設置整備事業補助金を交付する。 また、浄化槽整備区域内の合併処理浄化槽の適正な維持管理を促進するため、合併処理浄化槽を適正に維持管理している者に対し、浄化槽維持管理事業補助金を交付するほか、合併処理浄化槽の正常な機能維持を図るため、合併処理浄化槽の本体や部品の修繕等をする者に対し、浄化槽修繕費補助金を交付する。

対象者	浄化槽整備区域内の居住者等	対象者数	3,457	単位あたりコスト	21.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☑ 補助金交付 ☐ その他 （ ）					
委託先･実施主体等	浄化槽整備区域内の浄化槽維持管理組合、自治会、個人					

主な支出に係る業務内容と経費

費目	実績(R7)	主な業務内容	費目	実績(R7)	主な業務内容
需用費	17	消耗品費			
役務費	62	郵送料			
負担金補助及び交付金	62,882	合併処理浄化槽設置整備･維持管理･修繕費補助金、浄化槽汚泥処理負担金			

Ⅲ 予算執行状況

区分		R6(評価前年度)	R7(評価年度)	R8(本年度)	R9(要求年度)
予算情報	① 当初予算	68,844	65,028	62,971	0
	② 補正予算	150	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		68,994	65,028	62,971	
予算財源内訳	① 一般財源	66,566	62,600	60,463	
	② 国支出金	1,214	1,214	1,254	
	③ 府支出金	1,214	1,214	1,254	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	0	△ 96		
	② 配当予算	68,994	64,932		
	③ 執行額	66,204	62,961		
	④ 執行率	96.0%	97.0%		
人工概算	① 従事職員数 (正職員 /会計年度任用職員)	1.40 / 0.00	1.40 / 0.00	/	/
	② 概算人件費	11,200	11,200		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		77,404	74,161		

主な利用特財 (R7年度実績値)	特財名称	種類	実績金額	決算附属資料	頁
	合併処理浄化槽設置整備事業	衛生費国庫補助金	288	17	
	合併処理浄化槽設置整備事業	衛生費府補助金	130	24	

Ⅳ　業績指標（ロジックモデル）

成果指標及び成果実績①（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	69.2	69.4	69.6	73.5		
	浄化槽整備区域の水洗化率	目標値		69.7	70.2	70.7	71.2	71.7	
		達成度	%	99%	99%	98%	103%	0%	
活動指標及び活動実績①（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	基	4	5	7	1		
	10人槽以下の合併処理浄化槽の新規設置数	当初見込		5	7	7	2	9	
活動内容①（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	合併処理浄化槽を新規に設置する者に対し、浄化槽設置整備事業補助金を交付する。								

成果指標及び成果実績②（直接・短期アウトカム）	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度令和8年度	
	※**直接アウトカム**・・・下の活動指標及び活動実績（アウトプット）により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	人	2,446	2,399	2,326	2,259		
	浄化槽整備区域の処理人口	目標値		2,500	2,494	2,488	2,482	2,476	
		達成度	%	98%	96%	93%	91%	0%	
活動指標及び活動実績②（アウトプット）	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度令和8年度	
	※**アウトプット**・・・アクテビティをどれだけ実施するか（したか）を数値で測る目標名・実績。	活動実績	基	1,290	1,287	1,291	1,289		
	適正に維持管理された合併処理浄化槽の基数	当初見込		1,298	1,298	1,297	1,296	1,310	
活動内容②（アクティビティ）	※**アクテビティ**・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	浄化槽整備区域内で合併処理浄化槽を適正に維持管理する者に対し、浄化槽維持管理事業補助金を交付する。								

Ⅴ　事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること
	令和7年度の合併処理浄化槽の新規設置基数は、目標の2基に対して実績は1基で達成率は50.0%であった。 一方、令和7年度の維持管理事業補助金の交付件数は、目標の1,296件に対して実績は1,289件で達成率は99.5%、概ね達成できた。補助対象の合併処理浄化槽については適正に維持管理され、生活排水による水質汚濁防止及び快適で住みよい生活環境の形成が図れた。 課題としては、浄化槽整備区域において合併処理浄化槽の新規設置による水洗化を促進していくためには、合併処理浄化槽の必要性や新規設置に係る費用負担を軽減する補助金制度を未設置者に対して周知する必要がある。 また、既に合併処理浄化槽を使用している者に、浄化槽法で義務付けられた法定点検や水質検査、定期清掃の適切な実施を促すため、適正な維持管理の必要性や維持管理に係る費用負担を軽減する補助金制度を使用者や使用者が加入する維持管理組合等に周知する必要がある。
現状の課題に対する改善策	令和8年度は、浄化槽整備区域のうち旧三和町区域の合併処理浄化槽未設置者宅に訪問し、水洗化のメリットや合併処理浄化槽の設置及び維持管理にかかる費用の負担を軽減する補助金制度を周知する。